

1) 説明文

- ① この図は、概ね1000年に1度の規模の豪雨が降った場合に浸水が想定される範囲やその深さを表したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意して下さい。
- ② この内水浸水想定区域等は、指定時点の甲賀市の下水道の整備状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨（1時間雨量147mm）に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
- ③ このシミュレーションは、下水道や既存の雨水排水路等は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものです。時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される浸水深が異なる場合があります。
- ④ このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨や、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深が異なる場合があります。
- ⑤ 水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動してください。
- ⑥ この内水浸水シミュレーションは、下水道（雨水）の全体計画区域を対象に実施しています。

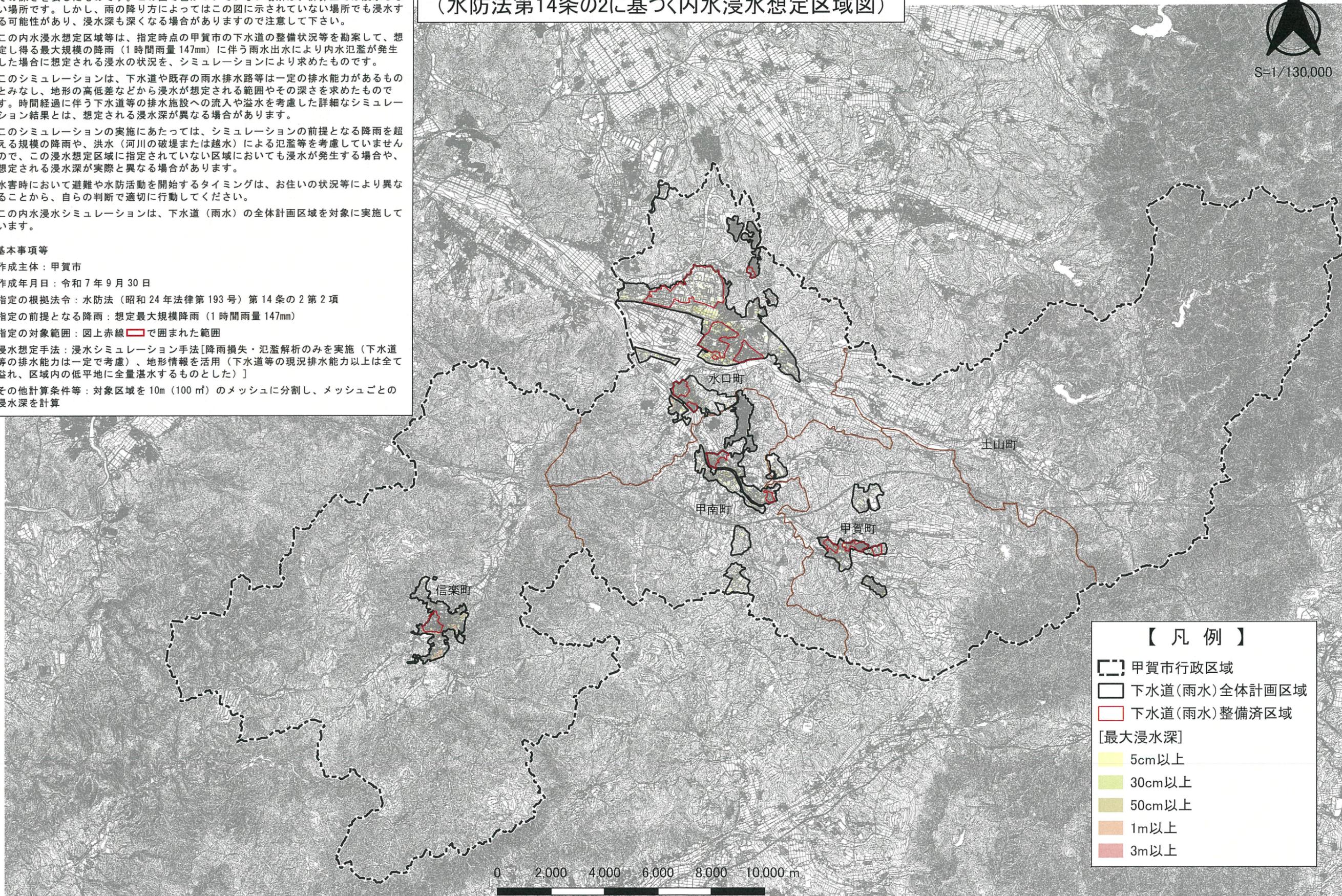
2) 基本事項等

- ① 作成主体：甲賀市
- ② 作成年月日：令和7年9月30日
- ③ 指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項
- ④ 指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨（1時間雨量147mm）
- ⑤ 指定の対象範囲：図上赤線 で囲まれた範囲
- ⑥ 浸水想定手法：浸水シミュレーション手法[降雨損失・氾濫解析のみを実施（下水道等の排水能力は一定で考慮）、地形情報を活用（下水道等の現況排水能力以上は全て溢れ、区域内の低平地に全量湛水するものとした）]
- ⑦ その他計算条件等：対象区域を10m（100㎡）のメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算

甲賀市 雨水出水浸水想定区域図 (水防法第14条の2に基づく内水浸水想定区域図)



S=1/130,000



【 凡 例 】

- 甲賀市行政区域
- 下水道(雨水)全体計画区域
- 下水道(雨水)整備済区域
- [最大浸水深]
- 5cm以上
- 30cm以上
- 50cm以上
- 1m以上
- 3m以上